



卒業おめでとうございます

校長 高見 康裕

木島小学校の校歌は、貝塚のかけがえのない自然環境の中で、木島小学校に学ぶことが高らかに歌われています。和泉山脈から、じっくりと時間をかけて集まった水が小さな小川になり、やがて近義川に流れ込み、そして海に流れ込んでいきます。途中で、貝塚市内の多くの田畑や池にその水が引かれ、大きな恵をもたらします。私たちの木島小学校は、そんな貝塚市の中程に位置しています。木島という名称にもあるように、昔から私たちの校区は緑豊かで、自然が多く残っているところなのです。

そのような自然環境に恵まれた中で、卒業生の皆さんは学び、成長してきました。

校歌にあるように、「仲よく学び」「元気に育ち」「明日の希望に心をみがいてきたのです。」

近義川から流れ込む海は広大であり、日本全体からやがては世界につながるものです。そして、夢と希望を抱いて卒業する皆さんは、これから世界につながっていく人々たちです。

平成二十二年、小惑星探査衛星「はやぶさ」が、五十億キロという道のりをへて、地球に戻ってきました。過酷な宇宙の環境の中、七年もかかって、燃料漏れやエンジンの故障など、数々の問題を乗り越えての地球への帰還でした。それは、奇跡とも言える偉業でした。帰還後、小惑星の成分を持ち帰ってきたことも分かりました。人類にとって、大きな成果です。

さて、この「はやぶさ」の帰還は、人工衛星として優秀だったからという理由だけではないのです。トラブルに見舞われたときに、チーム「はやぶさ」の人々が日本の基地から見守り、かすかな通信で操縦をしたからだということです。遙かなる宇宙の彼方で行方不明になった「はやぶさ」をあきらめず、必ず戻ってくる信じ、「はやぶさ」に電波を送りつづけたそうです。

予期せぬトラブルに、まるで自分の体の一部のように思い、故障の原因を究明し、修理、修正し続けたそうです。それは、まるで子どもを育てる思いにも通じるものがあるのではないかと思います。

「はやぶさ」もよくがんばったと思います。 「はやぶさ」を見守るチームの人々の思いや愛情が、この奇跡を生んだということに、たいへん感動しました。

小学校入学以来、この六年間を振り返ってみて、皆さん一人ひとりは、体も心もずいぶん大きくなりました。その六年間には、多くの出来事や困難があったことでしょう。それを温かく見守ってくれたのが、保護者の方々であり、学校の先生方であり、地域の方々です。もちろん友達たちの力も大きかったです。それらの多くの方々に對する感謝の気持ちを、忘れないでほしいと思います。これからは、いままでもより広い世界で、多くの出来事や困難に向かい合い、対峙することも出てくるでしょう。そんなとき、「夢」や「志」を忘れず、その夢や希望の実現に向けて、歩み続けてほしいものです。

卒業おめでとう



六年生のみなさんへ卒業おめでとうございます。みなさんと一緒に楽しく過ごした日々が思い出されます。一年生の教室へ給食準備のお手伝いをしに行った時、みなさんのやさしさにあふれた行動を見て、とても素敵だなと思いました。また委員会やクラブ、行動やそうじ等いろいろな場面で、自分達の役割をしっかりとこなす積極的な活動している姿は、とても立派でした。これからは、感謝、思いやり、素直な心を忘れずに、夢に向かって未来へはばいて下さい。本当にご卒業おめでとうございませう。

國松 真千子

木島小学校の六年生の皆さんへ卒業おめでとうございませう。とつとつこの日がやってきましたね。月日が経つのは早いもので、木島小学校を離れて二年。心も体も大きくなった皆さんが目に見えます。皆さんが歩んできたこの六年間は、楽しいことや辛いこと、苦しいこと、いろいろな出来事があったことでしょう。その一つ一つが懐かしい思い出になっていると思います。中学校へ行ってもしっかり学習する気持ちを忘れず、百パーセントの力を出して前進してください。そして友達を信じ、認めることも忘れず充実した毎日を送ってほしいと願っています。

森 比呂美

四年生の時に、一緒に勉強したことを昨日のように思い出します。運動会のソーラン節では、厳しい練習にも耐えて本番にとても良い演技を見せてくれましたね。秋の連合音楽会では、打楽器隊と一緒に練習したのをよく覚えてます。そして、三学期は、自分の一成人式で家族への感謝の手紙を読んで聞かせてくれました。思い返せば、君たちと過ごせた一年間は、楽しい思い出がいっぱいです。卒業してしまつのは少し寂しい気持ちもありますが、六年生として胸をはって巣立っていく君たちに、おめでとうございませう。ありがとうを言いたいです。

日根野 清文

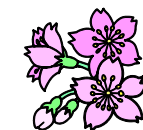
私は三年生と四年生を担任させていただきました。三年生の時は、名人さがしをしましたね。大工の棟梁やお茶の師匠、豆腐屋のおじさん等その道に精通した人の生き方から学ぶものがいっぱいありました。四年生では木島の里をたずねました。お年寄りの方に喜んでもらいたくて、劇やダンス、合奏の練習をしましたね。あの時作った千羽鶴は今も木島の里に飾られていますよ。やさしさと思いやり、名人から学んだほりを持ちつけて生きていってほしいと思います。

藤原 恵美子



「ご卒業おめでとうございませう。みなさんが三年生の時に一年間担任をさせていただきました。総合学習での「木島校区名人探し」、運動会で力を精一杯出した綱引き、遠足で行った大仙公園やキッズプラザ大阪、楽しく過ごした日々の事が思い出されてきます。あれから三年、最高学年として色々な場面で活躍しているみなさんのことを頼もしく、その成長ぶりに感心させられます。みなさんには夢と希望にあふれた未来が待っています。「人を思いやる心」「笑顔」を忘れずに、邁進して下さいませう。

高橋 幸子



みなさんへ「ご卒業おめでとうございませう。大海に「ご卒業おめでとうございませう。大海に」は広い、大きな世界へ進んでいくことになりました。初めて出会うこと、自分の考えをはるかに越えたこと。時には、自分がちっぽけに見えてしまつこともありますが、みなさんには無限の可能性があります。目をこらして見れば、大海にたくさんのお宝を見つかります。しっかりと帆を上げ、進んでいって下さい。木島が見守っています。

中上 裕史



卒業おめでとうございませう。一年前に初めてみなさんと出会った日のことを思い出されます。五年生の担任として過ごした一年間は、とても楽しい思い出です。ありがとう。となりを見ると、いつもの友だち、家に帰るとお家の人、先生、地域の方、その他にもたくさんの方が関わってくれています。そして、知っているところで、また多くは知らないところで、皆さんに協力し支えてくれています。そのことを忘れないうでください。そして、感謝の気持ちを常に持ち続けて、これからの中学校生活を過ごして欲しいと思います。

志禮 義隆